

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

令和5年12月7日(木) 発行人：校長 森内 秀学

心温まる 秋のトピック

時津町青少年健全育成町民会議では、「子どもたちに感心したこと」「ほほえましくなったこと」「うれしくなったこと」など、子どもたちのよい行いを広く紹介することで、全町的に「よい行いをほめる」環境をつくっていかうということで「子ほめ事業」を推進しています。このたび、時津公民館に設置された「子ほめポスト」に、本校児童に関する2通のカードが投函されたそうなので、ご紹介します。

▼ 時津小の4年生

学校の帰り道、ゴミや空き缶を拾っていました。私がちょうどビニール袋を持っていたので、入れて私が持っていくつもりでしたが、「家で捨てます」とのこと。本当に心が温まりました。今、スポーツの世界で日本人のそうした態度が称賛されています。日本人として、こんな子どもたちの成長が楽しみになりました。

▼ 時津小の3年生(?)

元村の下街区公園のトイレが汚れていたのですが、夕方、少し掃除していた時、遊びに来た女の子が「何かお手伝いしましょうか?」と声をかけてくれました。ありがとうございます。うれしかったです。

そういえば、先日、見守り隊の一員として、いつも三浦産婦人科付近の交差点に立ってくださっている山口さんから、「最近、子どもたちのあいさつがよくなりましたねえ。」とほめていただきました。また、昨日、ヤマダ電機の前に交通指導で立っていたら、拾ったゴミを、袋に集めながら登校する6年生と出会いました。

いいことばかり見聞きする12月。年の瀬も、もうすぐです。



少年の主張大会で立派に発表しました

12月3日は、少年の主張大会でした。本校からは、3年石崎仁心(にこ)さん(左)が「心を込めていただきます」という題で、4年杉原結菜(ゆな)さん(右)が「きれいな海や川をとりもどそう」という題で発表しました。体験と経験を結び付けたり、自分事として考えたりして書かれた作文は、志田館長からとてもほめられていました。



時津中の新制服展示中

ご覧ください、上の写真を。これが、来年の時津中新1年生の制服です。先日から校内に展示し、子どもたちにお披露目しています。校章のエンブレムが胸についた濃いグレーのブレザーは、とても賢そうですね。中はポロシャツで、ズボンかスカートか選べます。特にスカートのチェック柄はおしゃれです。着て通うのが、楽しみです。